

「おとこの台所・松原」 だより

第 206 号 令和元年 5 月 1 日

発行担当 (松原) 上杉英俊



亀戸天神の藤棚

新世の
「令和」の薫風
たおやかに
振袖のひと
藤の花揺らぐ

4 月の松原教室

★出席者数

	会員	ゲスト	計
4月5日	20	0	20
4月19日	15	7	22

★料理内容

- 焼き大根もち (中華風)
- 里芋とアンチョビーの団子
- 若竹の木の芽和え
- 中華ちまき



「中華ちまき」具材をアルミホイルに包む (この後蒸す)



「厚焼き玉子」
林さんによる追加料理です。



今月の料理は弁当形式で、食器ではなく
フードパックに入れました。

前沢氏のミニ講演会開催

4月5日の松原教室終了後に、上北沢会員の
前沢正公さんによるミニ講演会が開催されま
した。演題は『戦後70年 食品業界の変遷』
当日、松原会員9名が受講いたしました。
食品業界の販売形態、スーパー、生協、宅配、
通販等の参加、また商社や輸入代理店の台頭
等々の変遷、前沢氏の豊富な業界知識満載の講
演で、質問もあり興味深い内容の会でした。



「お酒のごぼれ話」 第20回 「兵庫県 灘の酒 酒米山田錦」



(上北沢 前沢正公氏)

大都市江戸へ積み出す「下り酒」を生産する。
先ず、伊丹、池田元禄年間が最盛期。
享保以降、灘目(今津播州)などが台頭し灘五
郷は文化3年(1806)大飛躍し、文化12年
今津西宮、魚崎、御影、西の灘五郷が成立した。
酒蔵の大型化と富の蓄積
灘の酒蔵造家と学校設立
報徳学園高校、御影の酒造家大江市松設立。
甲陽学院、白鹿酒造 大正9年。 灘高等学校
白鶴、菊正宗、桜正宗 昭和2年設立。
江戸時代から昭和50年代まで約370余年
日本の酒のリーダー県でありました。

《会員の窓》 『わが古里・関ヶ原に思う』 (山本啓司さん)



1600年9月(新暦10月)の関ヶ原の戦いは舞台にテレビに
小説に脚色された天下分け目に戦いとしてあまりにも有名である。
672年の壬申の乱も地元黒血川(現名藤古川)を中心に関ヶ原で起きている。
関ヶ原の原野は小高い山々に囲まれた盆地で、冬は寒く夏は暑い。
地理的には西高東低で西軍有利にもかかわらず東軍が勝利した。
中山道、伊勢街道、北国街道の交差する交通の要衝であり、古代三大関所の一
つで不破の関でもある。伊賀の住人 松尾芭蕉は大垣を終着地として立ち寄った
不破の関で、『秋風や藪も畠も不破の関』と詠んでいる。
小生、今年80歳、古里・関ヶ原を訪ねようと思っている。

新入会員紹介

勝田 榮蔵 さん
(松原3丁目在住)



《今後の予定》

- 5月17日(金) 松原 教室
- 5月25日(土) 料理講習会
- 5月26日(日) 「さつき祭」

◎ 5月3日の松原教室は休みです